

1. 基本動作

協会の定める基本動作に沿って競技を行う。

2. ラウンド数

前半:試矢 3 本+3 ラウンド 後半:3 ラウンド の 全 6 ラウンド

3. 3 分ルール

1 ラウンド 3 分以内(礼に始まり礼で終わる間)に 5 本の矢を吹く。

撥ね矢があった場合の吹き直しは 3 分を超えても良い。

4. 撥ね矢

的・的の緑外枠、または矢に当たって撥ねた場合を「撥ね矢」とする。終了後に的から落ちた矢は無効。

その場での吹き直しは 2 本まで、3 本目からは予備レーンで吹き直す(スタッフの指示に従う)。

5. 競技

- ① 自分の競技のひと組前になったら、待機席に座って待つ。
- ② 得点記録票をレーン審判員に渡し、道具の点検(前半試矢の前)を受ける。
- ③ 競技終了後は 1 歩下がり、終了の合図があるまで何もせずに待つ。
- ④ 終了の合図後、筒掃除をして、レーン審判員が呼ぶまでその場で待つ。
- ⑤ 呼ばれたら的の所へ行き、レーン審判員が記入した得点を確認しチェックを入れてもらう。
- ⑥ 的の矢を回収し、次に備える。
- ⑦ 採点に異議がある場合は、レーン審判員に申し出て「審議札」を上げてもらう。
矢を抜いてからの異議申し立ては無効。
- ⑧ 競技開始時に不在の場合、棄権したものとする。

6. 審判

<レーン審判員> (原則、競技者全員で担当)

- ① 自分が競技を終えたのち、次の競技者の審判をする(後審判)。
- ② 競技者から得点記録票を受取り、名前・組・レーンを確認する。試矢の前に道具を点検する。
- ③ 競技者が準備をしている間は、着席のまま赤旗を上げておき、準備完了と同時に赤旗を下ろす。
- ④ 撥ね矢が出たら、「〇〇レーン、撥ね矢」と言って、赤旗を上げて立ち、競技者が吹き直しを終えた時点で、赤旗を下ろし着席する。
- ⑤ 「終了」の合図で、的まで行き、得点を記録票に記入する。
- ⑥ 競技者を呼び寄せ、得点を読み上げながら確認し合い、チェック欄にレ点を入れる。
- ⑦ パーフェクトの場合、「〇〇レーン、パーフェクト」とコールする。
- ⑧ 競技者自身が、レーン審判員の判定に異議がある場合に限り、「〇〇レーン、審議」と言って、審議札(得点ボードの裏)を上げる。審議の判定は審判員サポートもしくは副審がおこなう。
自身で判定するのが難しいからと言って審議札を上げないこと。
- ⑨ 競技者に矢を抜くよう指示し、次の競技に移る。
- ⑩ 3 ラウンド終了後は、得点記録票を審判員席のクリップに挟む。

<審判員サポート> (公認審判員が担当)

主審・副審への情報伝達、また、不在のレーン審判員の代わりに務める。

審議札が上がったら、その的の所へ行き、判定をする。

(審議が複数あった場合は、近くの副審が務める)

7. 順位の決定

順位決定戦は行わない。

各クラス6ラウンドの合計の高得点者から順位を決定する。

同点の場合、パーフェクトの多い者 → パーフェクト同数の場合、第6Rの高得点者 →

それでも同点の場合、第5R・第4R・・・の高得点者 → 全てが同点の場合、会員番号の新しい者を上位とする。

8. 表彰

各クラス別の優勝・準優勝・第3位に賞状と賞品を授与する。

パーフェクト賞・ラッキー賞の授与

近畿ブロック長賞の授与

京都府会長杯の授与(京都府会員のうち10m部門の最高得点者)

【注意事項】

1. 審判時は必ずマスクの着用をお願いします。
2. 競技会場は土足禁止です。上履きに履き替えて、下足は各自で管理してください。
3. 競技中は、中央出入口を閉鎖します。観客席と競技場の間の移動は下記ルートでお願いします。
青ブロックは、男子更衣室側の出入口を通して移動してください。
赤ブロックは、女子更衣室側の出入口を通して移動してください。
競技中の青・赤ブロック間の横断は控えてください。
4. 更衣室は男女関係なく通路になりますので、着替えはご遠慮ください。また、ロッカーが少数ありますが、忘れ物や紛失には関与いたしません。ご自身で責任を持ってご使用ください。
5. 競技場内の立ち見観覧やフラッシュ撮影は禁止です。
6. 競技中の観客席間の移動は、できるだけ避けてください。また、静かに観覧しましょう。
7. 携帯電話は、音が鳴らないようマナーモードにするか電源を切ってください。
8. お昼休みを設けませんので、昼食は各自の競技時間を考えて観客席でとってください。
また、ゴミは各自で持ち帰ってください。
9. 得点記録票に記入するための筆記具は、各自でご用意願います。